

豚舎通信 2024

中央農業高校の豚舎情報をお知らせいたします。

第3号「肉豚共進会」

今回はちょっとだけシビアな内容です。

本校で生まれた子豚たちは、最終的には出荷され「精肉」となり私たちの生活に欠かすことのできない食材となります。出荷されるﾌﾀの一生はとても短くはかないものです。

肉を生産する目的で改良された代表的な家畜がウシ、ﾌﾀ、ニワトリです。

この現実を受け止め、「畜産」というものをどう理解していけるのかが畜産科学科で学ぶ内容の一つです。

さて、共進会というものをご存じでしょうか？

畜産の共進会とは、家畜の体形や骨格、各部位のバランスなどを審査し評価をするコンテストです。この共進会、実はお肉の部門もあるんです。

具体的には肉質や肉量、脂質などを審査し総合的に生産物が評価されます。

毎年5月には「神奈川県肉豚共進会」が開催されています。

年に1度の「お肉コンテスト」！！

県内のﾌﾀの生産者の方々と「ﾌﾀ」を通じて生徒たちが競い合える貴重な大会になります。

本校もこの共進会へ下の写真の中から選抜された2頭を出品します。

「課題研究」の授業で卒業生が取り組んだ希少品種を活用した交配により本校で初誕生したﾌﾀさんになりますので、当日を含めてどの様な評価をされるのか

ドキドキ・ハラハラ…

肉質は大丈夫か…

脂肪は多すぎないか…

はたして旨い豚に仕上がっているのだろうか…

心配は尽きませんが今から楽しみです。

この子たちが今回の主役です。



写真の中から2頭が選抜されます。

皆さんはどの子(🐷)がお好みですか？

結果については、またご報告したいと思います。

今日のところはこの辺で、以上第3回目の「豚舎通信」でした。

次回もお楽しみに👉